

大学改革の論点

1 . 目指すべき大学像

- ・ 個々の大学が個性ある戦略と目標を

2 . 大学のガバナンス

- ・ 大学マネジメントの在り方（経営と教学の関係など）
- ・ 学長の在り方と選出方法
- ・ 学部長の在り方と選出方法
- ・ 教授会の任務

3 . 教員人事・処遇の在り方

- ・ 研究者の流動性
- ・ 若手研究者の独立
- ・ 世界の頭脳をインバイト
- ・ 女性の活用
- ・ 教員人事の在り方（選考、処遇、任期付任用、兼業、人件費 等）
- ・ インブリーディングの解消

4 . 教授、助教授、助手の階層性、講座制の問題

- ・ 講座制の問題と若手研究者の独立
- ・ 学校教育法の助教授、助手の位置付け、「独立した研究者」の在り方
- ・ 教授の支援体制

5 . 大学院の在り方、大学院学生の位置付け

- ・ 大学院と学部の関係
- ・ 大学院の目標（専門職、研究者）
- ・ 大学院における教育
- ・ 博士課程修了者の産業界での活躍
- ・ 大学院学生の流動性
- ・ 大学院コースの複線化

6 . 管理部門の能力開発・人材確保及び体制整備

- ・財務、経理、法務、技術経営、産学協力、知的財産などの専門家の養成と人材確保及び体制整備
- ・アウトソーシングの活用
- ・労務管理

7 . 大学の学部・大学院・研究センターの弾力的組織運営

- ・時代を先取りする学問の開拓の遅れ 融合領域の重要性
- ・組織の枠を越える研究組織（センター）
- ・学部・学科の事前規制の在り方
- ・工学部の組織見直し

8 . 教育と研究

- ・学部教育と大学院教育・研究の関係見直し
- ・研究に要する経費は競争的資金からの充当も検討
- ・間接経費の在り方

9 . 情報公開

- ・財務、教育研究、産学連携などについての情報公開の徹底

10 . 財政基盤

- ・脆弱な財政基盤を強化
- ・民間からの寄付
- ・エンダウメントの強化
- ・税制の改善

11 . 評価

- ・アクレディテーション など